

議会だより

# おおえ



2013.7.24

No. 128

## 大山自然公園のユリまつりにて

### 6月定例会

一般会計補正予算 ..... ②

質疑応答 ..... ③

一般質問 ..... ④

西村山広域行政事務組合議会報告 ..... ⑧

西村山西部地区土地開発公社の解散 ..... ⑧

庄内町議会産業建設常任委員会が視察 ..... ⑨

町村議会議長・副議長研修会 ..... ⑨

神通峡、おおくらさわ橋が崩落/身近な広報紙に向けて ..... ⑩

第1回臨時会 ..... ⑪

議会傍聴所感/表彰/編集後記 ..... ⑫

●発行／大江町議会

●編集／議会広報常任委員会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町左沢882-1

TEL (0237)62-2228 FAX (0237)62-2155

# 一般会計 補正予算

6月定例会において歳入・歳出にそれぞれ5千410万円を追加し、補正後の一般会計予算を44億6千410万円とする補正予算（案）が可決されました。主なものは以下のとおりです。

## 入ってくるお金

- 農林水産業費分担金 277万5千円  
（美郷コミュニティセンター建設工事分担金）
- 県補助金 2千121万2千円
- 財産収入 350万円  
（西村山西部地区土地開発公社の解散に伴う返還金）
- 繰越金 1千16万2千円

## 雑収入

535万1千円  
（宝くじ助成金500万円、共済金35万1千円）

## 町債

810万円  
（地鶏補助金200万円減、美郷コミュニティセンター1千10万円）

## 当初予算に追加

## 支出するお金

- 総務管理費 500万円  
コミュニティ助成事業費補助金（3区獅子頭修理他）
- 児童福祉費 262万5千円  
子ども・子育て支援事業計画策定調査委託料（町民のニーズ調査）
- 保育士処遇改善支援事業費補助金 176万2千円  
（あゆみこども園）



あゆみこども園

## 農業費

### 柳川温泉施設管理調査等委託料

22万円

（柳川温泉浴室屋根の木質部の調査）

### 乾燥調整施設等整備支援事業費補助金

467万5千円

（本郷東部もみ乾燥調整施設、もみから精米できるコイン精米機）

### やまがた地鶏振興事業補助金

426万2千円

（事務所・販売所の整備、冷凍庫購入など）

## 美郷コミュニティセンター建設工事費

1千945万円

## 土木費

### 維持補修工事費

520万円

（融雪による欠所補修）

## 教育総務費

### 普通旅費

70万円

（平成26年度に中学生をモンタナ州へ派遣する計画があるため、事前調査のため職員を派遣するもの）

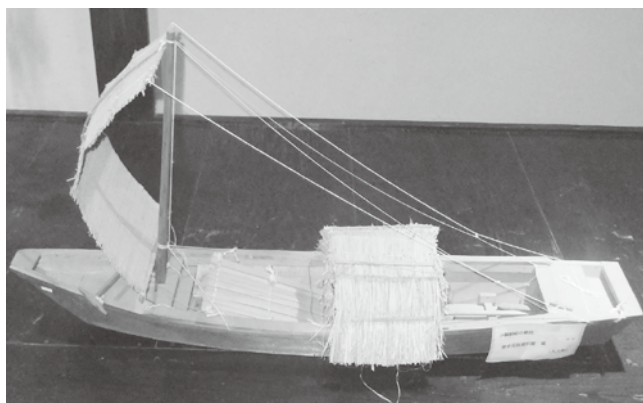
## 何に使われる 補正予算？

### 質疑応答（抜粋）

宇津江議員 観光施設事業負担金50万円について、大石田の方から小鵜飼舟を購入するそうだが、どこに展示するのですか。

政策推進課長 重要文化的景観選定と最上川舟運との関わりの取組みの中で、ほぼ原寸大のFRP製の

の小鵜飼舟なので、安全管理に配慮し、観光客にも説明できる場所に置きたいと考えています。



舟運で活躍した小鵜飼舟の模型

**結城議員** 美郷団地のコミュニティセンターは大変有利な条件で建設されるが、蛍水、みなみ団地より新しい美郷団地に決まった経緯を聞きたい。

**農林課長** 公民館建設で準備、積立金を含め美郷団地住民の意欲があり、大江町型住宅で建設したいとの要望で、事業内容から、林野庁の補助対象になったことで決定しました。



美郷団地のコミュニティセンター建設予定地

**松田議員** 保育行政の問題点として、西村山管内では指定管理への移行が多くなっているが、2つの保育園に関して町の方向性は。

**町長** 行政の立場からの「町立保育園あり方検討会」において、公と民間で非常に良い住み分けができていくという意見があった。これから保護者と、あり方検討会の意見を聞いて道筋をつけたい。

**安食議員** 大江町型住宅付帯建設等工事費40万円とあるが、パーベキューハウスを建設販売する詳しい内容の説明と販売時期は。

**農林課長** 西山杉を活用し、半日

程度でできる組み立て式の東屋的な一坪程度の建物で、野外で焼き物を楽しめる時期までに完成させ、西山杉をPRしたい。



活用が期待される西山杉

**結城議員** 柳川温泉等の施設は、100%町からの出資だが、1千万円近い赤字で利益の出ない経営になぜなったか、議員として、産業振興公社のことについては本来質問ができる性質のものであると思うが是非聞きたい。

**町長** ビジネスは浮き沈みがあるが、ここ3年の赤字を受け入れなかった。今年は特に原油高が要因だが、各施設の委託料、光熱費、

人件費を抑える努力はしている。議員の参加を含めて、経営のプロの目から見たアドバイスや第三者的な意見を聞き、町100%出資を改めて考える時が来たと思う。泥沼（経営）に入らないようにする。

**菊地議員** 教育活動推進費70万円の追加で、大江町の子供を世界に飛び立たせる政策で夢、希望がある。事業の内容について知りたい。

**教育文化課長** 国際理解教育推進事業で、国際感覚を養うため、モントナ大のあるアメリカのミズーラ市に、平成26年度から中学生10人以内を派遣するものです。その準備として研修内容をモンタナ大やミズーラ市と協議するため担当職員を派遣する旅費です。

**伊藤議員** 児童福祉費の補正で委託料の追加があるが、児童福祉はまったなしの事業であり、なぜ当初予算で組まなかったのか。

**健康福祉課長** 平成27年をめどに進んでいて、財源に関しては消費税10%を想定しており、当初予算の編成ではスケジュールの内容や情報が少なく、補正予算での編成となりました。



士田 勵一 議員

# 日本一公園の整備を問う

教育長

## 看板設置、雨水対策を重視する

**質問** 日本一公園（楯山公園）の入り口に皆が分かる標識が必要なのではないか。

**教育長** 看板整備については、ふさわしいピーアール内容の看板設置をしていきます。

**質問** 景色を見に来てくれる高齢者の方や足腰の弱い方にも配慮し、最も近い場所に駐車場を設置するとともに、一般車両の進入を禁止したほうが良いのでは。

**教育長** ビューポイントや東屋付近の車乗り入れ禁止については検討していきます。駐車場の設置については、史跡指定以外の場所になくてはならないので、自然の家や、愛宕山の実相院さんの駐車場を貸してもらおう方向です。

**質問** ビューポイント地点と楯山亭の雨水による地盤侵食対策の進行状況は。

**教育長** 昨年度に調査を行い、来年度から雨水対策を重視して保存整備していきます。

**提言** ビューポイント地点を高く



雨水により地盤侵食が進む日本一公園の楯山亭

したり、京都清水寺の舞台や山寺の五大堂のように、見晴らし台を突き出して設置しては。

**教育長** 魅力的な提案ですが、山城時代にやぐらや見張り台があれば復元できますが、今は跡も発見されておらず実現は不可能と思います。

ビューポイントの整備については、盛土して転落防止柵の設置、体の不自由な人のために手すりを設置します。

# 議会の動き (平成25年4月～6月)

4月

1日 広報常任委員会

9日 広報常任委員会

15日 広報常任委員会

16日 庄内町産業建設常任委員会  
行政視察来町

24日 全員協議会懇談会

6月

5日 第2回定例会(7日まで)

7日 広報常任委員会

11日 広報常任委員会

13日 県町村議会議長会  
臨時総会(大石田町役場)

14日 産業厚生常任委員会

18日 広報常任委員会

21日 議会運営委員会

24日 広報常任委員会

28日 臨時議会

5月

10日 県知事要望会  
(大江・西川両町道路整備  
促進期成同盟会)

16日 村山地方町村議会議長会  
定例総会(河北町ひなの湯)

22日 町村議会広報研修会  
(山形市国際交流プラザ)

24日 知事を囲む市町村自治振興  
懇談会(山形市ランドホテル)

27日 議会運営委員会

28日 西村山地方議長協議会総会  
(寒河江市フローラさがえ)

29日 全国町村議会議長副議長  
研修会  
(東京港区芝メラルクホール)

次回定例会は、9月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。



松田 敏男 議員

## 旧七軒西小学校の利活用は

町長

### 地域の方々の意見を聞き検討する

**質問** 閉校した本郷西、七軒東、七軒西小学校について、平成25年度中に部内（各課職員）からなる検討委員会を立ち上げて利活用の方針を定めるとある。

特に、七軒西小学校の整備が具体的に示されているので次の件について伺う。

宿泊施設を整備し子ども会、スポーツ少年団、婦人団体等の研修の場として改修するとあったが、今年度中に完成するのか。

また、規模、予算等のほか費用対効果についてはどうか。

**町長** 施設の活用方針や運営母体が決まった時点で設計積算を行い示したい。

**質問** 柳川温泉との関連で宿泊施設への改修は必要か。

**町長** 簡易的な宿泊施設への改修であり、影響はないと思われる。

**質問** 短期間で答えを出すのではなく、もう少し長い目で見ての結論でも良いのでは。



利活用が求められる旧七軒西小学校

また、自然の家の分館的な利用方法は無いのか。

**町長** 自然の家の分館なども含め、利活用について地域の方々の意見を聞き検討をしていく。

**質問** 柳川地区に居住している地域おこし協力隊員をはじめ、新たな角度からの「地域おこし協力隊活用事業」の導入で方向性を探ることと思つが、地区民との接点をどう考え

ていくのか。

**町長** 地域の意見を十分に聞き、活用に向けた方向性を示したい。

協力隊員の発想とヤル気を尊重し、積極的に取り入れていく。

## 河川公園（親水公園）の設置は

町長

### 県当局に要望していく

**質問** 町内を流れる最上川には一部フットパスが整備され、川辺の散策ができるようになりました。

川辺で水に親しむには、目線を同じくすることで癒しの空間が生まれます。

小さな子どもや小学生でも、水に親しみ（一部水の怖さも知る）やすい河川公園を旧若宮ヤナ跡地周辺に作る事ができるかどうか。

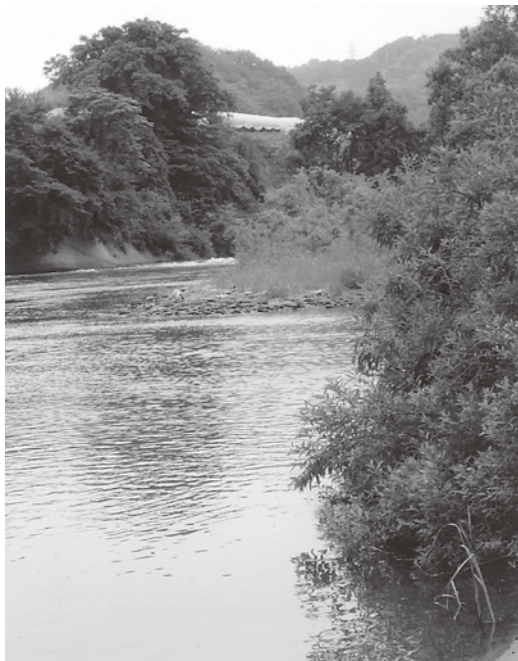
国（農林水産省）や県との関連もありますので行政が中心となり、是非、実現の方向

で考えてはどうか。

**町長** 最上川の旧若宮ヤナ跡地への公園の整備については、管理者である国と協議する必要があるが、国が自らの事業として実施する可能性は極めて低いものと思われま

す。また、町が実施主体となり国に工事の申請を行い、許可を得た後に工事着手する方法が考えられますが、上流にある観光ヤナとの関係、水辺空間としての安全性確保と維持管理面から、工事を実施できる可能性は低いものと思われま

す。旧若宮ヤナ跡地に隣接している防災倉庫用地の活用方策を検討するほか、月布川についても貫見く沢口間の河川敷を利用し、直接川の水に触れられるような河川公園の整備を県当局へ要望したい。



若宮ヤナ跡地（藤田地内）



菊地 勝秀 議員

## これからのまちづくり政策は

### 町長 町民と行政が共に汗を流す

**質問** 町の魅力を発信し、ふるさと納税を増やすことはできないか

**町長** 寄付者は贈り物をもらうことが目的ではないものの、町に関心を持つてもらうためのPRとなりうる贈り物になるよう検討していきたい。

**質問** 組織機構の見直しのねらいは

**町長** 起業・観光をまちづくりに生かすため、企画分野と合わせて政策推進課としました。

教育委員会は課の連携を図るため、中央公民館にまとめ、住民へのサービス向上を図ったものです。

**質問** 役場内の机の配置を変える考えはないか

**町長** 机の配置もチーム力を高める一方策であると思われませんが、一人ひとりの職員の資質や能力の向上などで、組織力、チーム力が最大限発揮できる体制になるよう対処してまいります。



役場内の様子

**質問** 人口減少の対策はどのように考えているのか

**町長** いかにか若い人から町内に留まっていたかどうか重要な鍵になります。

わが町を正しく理解してもらうことで町への愛着が生まれ、定住につながるよう、雇用面、住宅面等の対

策も含め、「攻め」の姿勢で取り組んでまいります。

**質問** 住宅団地造成についての今後の考えは

**町長** 新たな住宅団地については、若者のニーズに合う低価で分譲できる団地の箇所の絞り込み検討を進めています。

**質問** 新規就農者支援はどのようなになっているのか

**町長** 国や県の支援が受けられませんが、町では、農機具等整備事業補助金や独身者に対する研修施設の無料貸し出し、家族で移住される方には借家の家賃、光熱水費への支援を行います。



指導を受けている新規就農者

**質問** 空き家バンク制度が始まったが、倒壊寸前、半倒壊している空き家を解決できないか

**町長** いままで6件の登録申し込みがありました。これからも様々な制度の創設について検討していきます。なお、空き家の管理につきましては、災害などの緊急性を要する場合以外は、個人の財産権という点から、関与するのは難しい現状であります。

**質問** これからのまちづくり政策は

**町長** 大江町総合計画に示す、人を育み、くらしを安定・堅実なものとし、生業となる産業を振興することが必要であり、町民と行政が共に汗を流し、取り組むことで、大江町の全ての人々が喜びを共有できるものと信じています。





宇津江 雅人 議員

## 重要文化的景観の選定に際し 今後の町づくりは

**町長** 町民は景観に誇りと自信を持つことが大切、共に町づくりに臨む

**質問** 文部科学省が今年の3月27日に、国の重要文化的景観として「最上川の流通・往来及び左澤町場の景観」を選定しました。

そこで、観光ボランティアが案内するコースの観点から、次についてどう考えるのかお聞きしたい。

**町長** 百目木の最上川舟唄発祥の地碑前にある小さな広場の整備はどうか。石畳のような広場であれば川とマッチし、雰囲気良くなると考えるが、

**町長** 国土交通省と協議し、百目木広場の整備については景観にマッチした工法により整備検討していきたい。

**質問** 舟唄碑前広場からフットパスに入る道の整備です。

土砂の坂道で、高齢者は雨天の時など歩くのに苦労しています。

**町長** フットパスに入る箇所についてもどの辺まで整備が可能か検討します。

**質問** フットパスの脇に町の花あじさいを一直線に植栽し、あじさい



フットパス入口へ続く歩きにくい遊歩道（百目木地内）

ロードとしてはどうか。

**町長** 花の植栽に関しては、大雨による冠水や管理面について関係機関との協議を進めてみたい。

**質問** 斎藤茂吉歌碑の土台の整備

について、歌碑が3基ありますが、2基は土台がないため歌の下部が草むらに邪魔され読めない状況にある。

**町長** 斎藤茂吉の歌碑については、定期的な草刈りや歌碑の周辺を舗装する等も検討したい。

**質問** 町道川端線の整備です。

最上川へ続く道路として、景観上、

石畳のような道路としてはどうか。

**町長** 町道川端線を石畳にした場合、除雪等の弊害も考えられ、実現は難しいと考えます。

**質問** 町道原町旧最上橋線の道路上の赤錆対策です。

重要な建築物の景観がそこなわれるのではないかと考える。

**町長** 原町の消雪施設そのものが経年劣化による維持管理の課題もある。



赤錆が見られる原町の道路

り、様々な観点から検討していきま

**質問** 文化的景観を根付かせていくためにどのようなことを考えているのですか。

**教育長** 取組みとして、パンフレットを全戸配布することになっています。

また、先生方の理解のもと、小中学生に対し「ふる里を学ぶ学習」に取り組んでいます。



大江中3年生「ふる里を学ぶ学習」

**質問** 文化庁による国庫補助のほかに県からの補助はあるのか。

**教育長** 現在はないので県に要望していきたい。

# 西村山広域行政事務組合議会報告

## 一、養護老人ホーム明鏡荘の 指定管理者制度

今後の明鏡荘の在り方についてこれまで検討した結果、生活支援と介護の一体化による質の高いサービスの提供をめざし、当面は公設民営方式で運営し、将来的には民設民営方式になっていくことが望ましいとの方針になりました。

明鏡荘の職員について、平成25年4月1日の時点で正職員11名、臨時職員16名、パート職員3名の計30名ですが、正職員が定年退職を迎えるため、平成26年度には7名と、最小人数になることが予想されます。

指定管理者募集にあたり、西村山管内に特別養護老人ホームを運営している社会福祉法人、または西村山管内に社会福祉法人を設立し特別養護老人ホームを運営しようとする団体が募集の対象になっております。

しかし、将来民営化になれば、サービスの低下を招くのでは、職員の待遇が悪くなるのではないかなど、施設の閉鎖も勝手にできるようなものでは、現在のままか公設民

営方式が良いという意見もいただきました。

## 二、寒河江地区クリーンセンター 最終処分場整備概要

平成28年上期には、寒河江市幸生地区にある大平最終処分場がいっぱいになるため、第2期大平埋立処分地（55000㎡）を整備します。今回の整備で、平成28年度より15年間使用できる予定です。

2月6日に行われた臨時会において、広域行政事務組合議会議員の人事と、養護老人ホーム明鏡荘を平成26年度より指定管理者に業務委託できるようにするための条例制定、一部改正、化学消防ポンプ自動車一台と消防ポンプ車一台の取得が可決されました。



今後の在り方が注目される明鏡荘

# 西村山西部地区 土地開発公社の解散

西村山西部地区土地開発公社は、昭和49年、朝日町・西川町・大江町の3町で設立されました。

昭和50年月が丘住宅団地、昭和57年山崎・下モ原住宅団地、平成元年藤田工業団地、平成7年螢水住宅団地の造成を行いました。

平成16年以降、各町とも、団地造成事業は各町の特別会計事業として取り組むようになり、今後も事業の実施が見込まれていません。存続するだけで経費、労力がかかることから、解散することになり、全会一致の賛成で可決しました。



土地開発公社が造成した月が丘団地

## 専決処分の承認

平成25年4月1日から施行しなければならぬため、3月31日付けでなされた専決処分による条例の一部改正が議会に報告され、これを全会一致で承認しました。

承認された条例は大江町税条例他4件です。

## 新たに制定された条例

大江町新型インフルエンザ等対策本部条例

大江町森林整備促進・林業等再生事業分担金徴収条例

これは、美郷団地内にコミュニティセンターを造るため、美郷区から分担金をいただくためのものです。

## お詫びと訂正

前号127号の20ページ1段目

「吉村美恵子山形県知事」を「吉村美栄子山形県知事」と訂正し、お詫びを申し上げます。



## 「くらしのみち」 などを じっくり視察

4月16日(火)、左沢7区の道路『くらしのみち』(通称、内町横町通り)と左澤中央通り商店街を視察するために庄内町議会産業建設常任委員会が当町を訪れ、役場建設水道課職員、地元区長、商店街役員の方々、また、議会を代表して、議長と産業厚生常任委員会の議員が応対しました。

はじめに、ふれあい会館にて、これまでの経緯と事業内容を説明し、その後、実際に現地に向き、通りを東西に端から端まで歩きました。

旧余目町の中心市街地の道路整備があり、その際に国道から県道に移管(大江町は、県道から町道に移管)になり、中心商店街も同じであることから先進地視察となったものです。

地元に住んでいる人の話や道路・商店街を利用する人の話、車を運転する人の話を熱心に聞き、良い点、悪い点を参考に今後町の町作りに活かしていきたいと話しておりました。



説明を受ける庄内町議員

## 『くらしのみち』事業のあらまし

平成16年1月に地区住民が一丸となり「くらしのみちづくり協議会」を発足しました。協議会では中心商店街の活性化を図ることを目的とし、歩行者、自転車を優先とする「お年寄りと子供にやさしい街道づくり」をコンセプトに交通社会実験等を実施し、商店街の活性化を促す道路空間の有効利用について協議を進めました。住民の意見を取り入れた整備を平成20年度より行い、平成22年度に完成しました。

## 町村議会議長・副議長研修会

## 「これからの町村議会のあり方」

平成25年5月28日(29日)、東京芝のメルパルクホールにて、全国町村議会議長会主催の研修会が開催され、当町から小野議長と安彦副議長が出席しました。

「町村議会に期待する」と題して東京大学大学院法学政治学研究所教授、金井利之氏の基調講演がありました。

続いて、「これからの町村議会のあり方」と題してシンポジウムが行われ、コーディネーターとしてジャーナリストの松本克夫氏、パネリストとして、北海道鹿追町議会議長・埴淵賢治氏、岩手県西和賀町議会議長・佐々木正裕氏、茨城県大洗町議会議長・小野瀬義之氏、兵庫県播磨町議会議長・宮尾尚子氏の4氏が登壇し、それぞれの議会改革のための苦労話などを話されました。

29日は「歴史に見るリーダーの条件」と題して、歴史研究者・作家の加来耕三氏の講演、「政治・経済の展望」(報道から見たこれからの日本の姿)と題してTBS

テレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏の講演があり、どちらも大変興味深い内容でした。今後の当町議会の改革の指針として活用できればと思います。



学ぶことの多かった議長・副議長研修会

# 神通峡のおおくらさわ橋が崩落

神通峡の遊歩道に架かる橋の一つである「おおくらさわ橋」が崩落しているのを5月25日、町の観光ボランティアガイドが発見し、町へ通報しました。

大倉沢からの雪崩による災害と思われませんが、今後の復旧対策のため6月14日、産業厚生常任委員が被災地の調査を行いました。

おおくらさわ橋は全長18・5m、幅2mの鋼橋で、両岸にあるコンクリート製の固定箇所を残し、月布川に投げ出されたような状態で崩落していました。



月布川に崩落した「おおくらさわ橋」



産業厚生常任委員による現地調査

今後の対応について、担当課の説明によると仮橋については町が早急に着工する計画であり、新設する橋については県当局及び国土交通省へ、雪崩による災害として近日中に申請する予定とのことです。

# 身近な広報紙に向けて

第30回県町村議会議長会主催の議会広報研修会が5月22日（水）山形国際交流プラザにおいて行われ、当議会から広報委員が参加しました。

広報コンサルタント深沢徹氏を講師に迎え「議会広報に求められるものは？」をテーマに、「ありのまま」分かりやすく、住民とともに歩む広報紙のあり方について勉強してきました。

講師は元山梨県身延町議会議員として6期務められた方であり、身近に感じながら研修することができました。



講師の深沢徹氏



県内22町村から集まった広報担当議員

研修後半は、県内7町村が作成した「議会だより」を見ながらのクリニックを受け、各町村の特色ある内容を一読し参考になりました。特に、庄内町の議会広報紙は平成24年度全国町村議会広報紙のコンクールで見事、最優秀賞を受賞しており、見習う点が多々ありました。

またクリニックの途中、講師から直接指導を受けることもあり、実際に編集するうえで考えさせられることが多くありました。

特に、文字の大きさ、わかりやすい記事、写真の大きさなどに工夫し編集していきたいと思いました。今後も町民みなさんの目線に立ち、興味をもって読んでいただけるような議会広報紙づくりを目指します。

# 第二回大江町議会

## 臨時会

平成25年6月28日

### 《議第53号》

大江町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 賛成により起立した議員

菊地勝秀 伊藤慎一郎  
土田勳一 布施正昭

### 起立しなかった議員

安食幸治 宇津江雅人  
安彦勉 古城紀夫  
松田敏男

### 欠席

結城岩太郎

よって賛成少数により、議第53号は否決されました。

### 《議第54号》

大江町特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正

### 《議第55号》

大江町教育長の勤務条件に関する条例の一部を改正

### 《議第56号》

平成25年度大江町一般会計補正予算の3議案は取り下げとなりました。

## 提案理由

今回の条例改正につきましては、世にもまれな東日本大震災の復興財源確保のため、実施されている地方交付税の削減を受けて、大江町においても町民サービスへの影響を最小限にするとともに、国の復興支援に対して協力を申し上げたいという考えから、特別職、及び一般職員の給与費を減額する関係条例の改正について、提案させていただきます。

### 質問 宇津江議員

基本給2・8%の給与削減について職員組合の方と何回話し合いを行ったのか、また、妥協点は得られたのか。

### 答 町長

少なくとも事前に組合の方々と話し合いを3回ほどはもつたと理解している。最後の話し合いの席上では70名弱くらいの職員に参加していただいた。

しかし、2・8%については、これは認めていただけるという感触を得たところです。

### 答 総務課長

総務課長1回、副町長2回、町長2回の計5回であります。

### 質問 宇津江議員

当町職員給料は県内では最下位に近く、全国地方自治体1784団体中1617位であります。このような状況から単純にラスパイルス、プラス分2・8%を削減するのは酷ではないか、減額率の見直しはできないか。

### 答 町長

全国的な比較、県内や地区内の給与の比較を論ずるテーブルと、2・8%を削減する話し合いのテーブルとは本来、別のものである。

### 質問 松田議員

町でも上程しない場合、議会でも否決になった場合、国からある程度のペナルティがあるのか。

基本的には労使の話し合いが妥結しないまま議会上程しているが、これはあつてはならないのでは。

### 答 町長

労使の合意がない場合上程できないのではない。町民の意を受け、この職責にたつて判断したものです。

交付税の関係で、町の減額分3千300万円であり、職員の給与の減額は1千200万円です。

町民サービスへの影響を最低限度に抑えたいという意味を考えていただきたい。

### 答 総務課長

国会での大臣答弁から、基本的にはペナルティなどはないと信じたい。

### 質問 松田議員

7月1日実施にこだわる必要はないのではないか。

### 答 町長

時期を延ばせば、ありがたみ、誠心誠意が失われるという思いがあります。

さらなる議会の活性化を



鈴木 友吉 (葛沢区)

町長はじめ議員の皆さんご苦労様です。

私は議会の傍聴に行くたびに思うことがあります。

それは各議員の皆さんが質問する内容に対して町長、副町長、教育長及び課長等が回答するわけですが、それに対しさらに突っ込んだ質問が足りないような気がします。

答弁に困るくらいの厳しい質問がないのは残念です。

町長や課長の回答が良すぎるのか、議員の勉強不足なのか、私は議員の勉強不足なのではないかと思わざるを得ません。

議員の質問は、議員であるとい

うカモフラージュのための質問でしかないように思えてならないのです。

議員による飲酒運転の問題、コチヨウランの問題などいろいろの問題が取りざたされています。

私たちを代表する議員であるという高い意識を持って議員活動をするようお願いしたいものです。

また、議会を傍聴するぐらいの人は政治に関心がある人が多いと思います。

そこで思うのは、せめて議会が終わった後に町長及び副町長が傍聴席に来て何か質問がないかなどの声をかけ、町民の生の声に耳を傾けてくれるような配慮があれば、傍聴人も更に増えるのではないかと思います。

もう少し活気ある議会になるよう、大江町が更にすばらしい町になるよう期待しております。

おめでとう  
じぎいます

地方自治発展の  
功績で表彰されま  
した。

古城紀夫議員は、平成15年9月に初当選して以来3期目10年になります。

よって平成25年5月16日、山形県村山地方町村議会議長会表彰を受けられました。



古城紀夫議員

編集後記

梅雨の6月は麦秋といって、麦の刈り取り期に入ります。麦の自給率を高めるために、水田の転作作物として植えた時がありました。

梅雨空の晴れ間を見ながらぬかるんだ水田で刈り取りをするのは大変な苦勞でした。モンズーン地帯と言われる日本での麦づくりはいかに難しいか。

やはり「瑞穂の国」、日本人は米をつくり、ご飯を食べることが日本の文化であると思います。

世界には、トウモロコシが主食の国があれば芋が主食の国もあり、それぞれの食文化があります。その文化を守り続けていかなければなりません。

貿易の自由化、聖域なき関税撤廃などを言う前に…。

(記・伊藤慎一郎)

発行責任者

◆議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 伊藤慎一郎

◆副委員長 安彦 勉

◆委員 宇津江雅人

◆委員 安食 幸治